

特定非営利活動法人 かかわり教室

今回は中央区地域部会に事務局としてご参加いただいている「かかわり教室」にお邪魔してきました。

かかわり教室は、未就学児を対象とした児童発達支援「みのり」、放課後等デイサービスでは、小1〜小4のクラスの「minorilab」、小5〜中3のクラスの「みのりII」、高校生のクラスの「みのり」と、あわせて4つのクラスに分かれています。かかわり教室はもともと学習障がいのある子供たちへの支援をルーツとしていることから、学習支援に強みがあり、発達検査を始めとする各種アセスメントを行って、子どもたちの強みと弱みを把握したうえで、親御さんと話をしながら支援を行っています。私たちは先生や親御さんそれぞれの理解者として、その懸け橋になればと思っています」と二峰代表は語られました。

1 療育の特徴について

かかわり教室では、それぞれの年齢に応じたソーシャルスキルトレーニングや、「ジョン・トレーニング」、基礎学習の補完指導などを、各クラスの専任のスタッフにより行っています。その療育の根底にあるのは、「子どもたちが自分らしさを発揮できる居場所」となれるようにという思いです。

二峰代表は次のようにお話しされました。「かかわり教室」に行けば、お兄さんお姉さんとお話ができてホッとできる『かかわり教室なら分かります』と教えてくれるから勉強できる『子どもたちが思うことができて、安心していられる居場所であることが、子どもたちが『通いたい』と思う気持ちにつながります。

また、勉強が本格化する中高生のク

ラスでは、大学生などのボランティアに来てもらっていますが、皆さんには『お兄さんお姉さんであってね』『みんなの日常を話してあげて欲しい』と伝えています。大学生生活のこと、部活のこと、恋愛のこと、そんな彼らの日常が子どもたちにとっての一番身近な社会であり、希望であり、子どもたちが色々な世界を知り、様々な将来の夢を抱きかけになると思っています。

2 家族の支援について

かかわり教室では、「家族や関係者がお互い情報交換などを通じての交流の場としての『居場所』」とされるよう、ご家族の方への支援にも力を入れています。ペアレントトレーニングでは、6か月の期間でのセッション・1クールのプログラムに沿って実施しています。子どもの行動を分析し、行動療法に基づき、親が子どもに分かりやすい具体的に効果的な対応を身につけ、対処するための方法を学びます。各セッション、ステップバイステップで進めていくなかで、親が子どもの困難さを理解し、親と子がより良い関係を築き、生活がしやすくなることに主眼を置きながら取り組んでいます。

懇談会では、スタッフが様々な研修を行っているのもちろんなこと、他の親御さんの話を聞くことで気づかされたり、分かったり合えたりすることが多いことから、親御さんにとってもよき居場所であり、横のつながりが作れる機会になっているそうです。時には、先輩ママに来てもらって、下の年齢の子を持つママに、これまでの暮らしのこと、学校の選び方、進路のことなどについて体験談を話してもらったりもしています。また、かかわり教室のスタッフにとっても親御さんがどういふことで悩んでいるのかを知る機会でもあり、懇談会を通して、支援のあり方を見直すきっかけになることもあるそうです。

3 卒業後の居場所について

かかわり教室では、今年度から「Maison Minoril」という卒業後のサポート事業を行っています。Maison Minorilでは、月に1回の定例会（お話をのんびり）を開催し、かかわり教室の卒業生が集まり、近況報告やイベントの企画などを行っています。卒業生の皆さんは、進学したり、一般就労したり、就労継続支援事業所に通所したりと様々な進路にすすんでおり、それぞれの立場から、「休日はどうなうに過ごして

いる？」「日々の生活で困ったことはない？」といったことなどについての様々な情報交換や仲間づくりができる場所となっています。卒業生同士で協力して決めているイベントの企画では、皆さんからの「1つ1つのことやってみたいよね」という声から、今年度は、焼き肉や登山、ボーリング大会、忘年会などの様々なイベントが行われています。焼き肉の際には、お酒を飲める年齢になった卒業生がいたのもあり、「みんなとお酒を飲める日がくるのは！」と、スタッフ一同、感慨もひとしおだったそうです。

また、近況報告のなかで、スケジュール管理の課題なども出たことから、「じゃあ、今度みんなどうしているのかをシェアして使える技を学ぼうよ」ということで、今後はスケジュール管理を議題にした定例会も開催する予定です。また、卒業生には、かかわり教室の中高生の子もたちに「先輩の話」ということで、自分の体験を話してもらうこともあります。Maison Minorilは、卒業生がどのように暮らしているか、どのような問題に直面しているかを知ることができるとも、卒業生にどのような支援をすればよいかを新たに考える貴重な機会にもなっているとのことでした。

かかわり教室は、お子さんの居場所、ご家族の居場所、そして卒業生の居場所としてあり続けながら、それぞれの場であがってくる皆さんの声を真摯に受け止めながら、これからもより良い支援に向けて前進し続けていってほしいのだと、今回の取材を通じて感じられました。



〈連絡先〉

〒060-0042

札幌市中央区大通西16丁目1-13 けいほくビル10F

特定非営利活動法人かかわり教室

未就学児さんクラス みのり 070-6601-9375

小1〜小4クラス minorilab 070-5066-6636

小5〜中3クラス みのりII 070-5069-9375

高校生クラス みのり 070-6601-9375